



茂岩俳句会

豊寿文芸

ふたつ三つ色どり増すや春の庭

甘粕 恵美子

畳紙中でうずうず春裕

海 富智恵

トラクター動く後から土匂う

長崎 あけみ

花種を蒔くや手品師いるごとし

前川 ひとみ

入学の子等の元気な声響く

中島 喜代美

風光る新米アナの声ふるえ

上田 知子

昼休みこくりこくりの春うらら

野田 のり子

前抱っこ育休パパに春の風

垣内 順子

帰る鳥沼に数十羽休め

松井 テル子

口開けて目薬さして風光る

福井 一浩

雪解けにはるにれ遠く風が吹く

神 直子

福寿草もつと燥げよ庭の隅

徳田 則子

チューリップかぜに揺られて咲き誇る

松井 初美

茂岩山上から裾まで山笑ふ

西本 牧童

故郷の訛聞きたし春の宵

門馬 英寿

春風に帽子飛ばされ追いつけず

脇坂 信一

川づつみ幹に咲きしは残花なり

上地 絹子

ライラック花とも知らず子が歌う

畑中 幸二

春睡の覚めて虚ろのまま暫し

中屋 吟月